

平成 24 年 2 月 14 日
(独) 水産総合研究センター東北区水産研究所
株式会社ハイドロシステム開発
宮城県水産技術総合センター
宮城県漁業協同組合

万石浦－石巻湾間水路における交換流量調査の事前海底地形調査結果について

農林水産省「平成 23 年度種苗発生状況等調査事業」のもと、東日本大震災後の石巻湾におけるカキ幼生天然採苗の効率化を支援するため、母貝が多く生き残った万石浦と石巻湾を結ぶ水路における交換流量の観測を実施しています（図 1）。その事前調査として、同水路における海底地形調査を行った結果、水路の中央部を中心に海底 10 m 近くまで深くなっている（震災前の詳細なデータはないが最大で 5 m 程度）ことが判明しました（図 2）。深くなったことにより、万石浦と石巻湾との間の交換流量が増えることが予想されます。平成 23 年度種苗発生状況等調査事業で得られた情報は、今後も順次、漁業者へ提供します。



図 1. 調査対象海域と震災前の大まかな海底地形（航海用電子参考図 newpec より）。

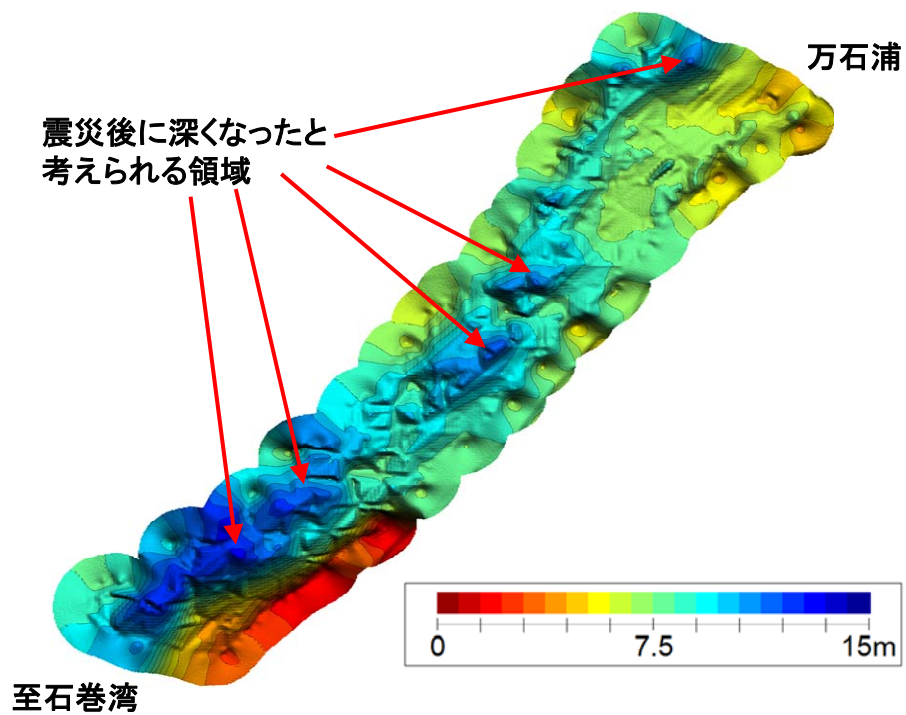


図2. 2012年1月19日に実施した調査対象海域における海底地形観測結果。水路中央部で10m深になっており、最大で15m深に達する場所もある。